

小山明正議員

市制施行60周年を迎える思いについて

議員 市制施行60周年を迎える思いをたずねる。その上で、新しい市長に託したいことがあれば、示してもらいたい。

市長 4月には、市内24地区でまちづくり協議会が発足する。笠岡に住んでよかった、笠岡にずっと住み続けたいと思えるようなまちづくり、そして、新しい時代の流れに的確に対応したまちづくりを実現する輝かしい船出の年を迎えようとしている。



市制施行60周年記念式典

このような思いを込めて、今後の市政運営を新しい市長に託し、市民と協働で新しい笠岡の大輪の花をぜひ咲かせていただきたい。

交流（受け入れ）人口の増加対策について

議員 市内には、陸・海・空・屋内それぞれスポーツができる環境がある。スポーツ合宿という形で、本市の振興に取り組んではどうか。

市長 昨年度から総合体育館において、夏休み期間・春休み期間に大学生の合宿に利用いただいている。

一方、白石島の宿泊施設を使ってB&Gを利用する合宿プランを旅行者者に提示している。また、旧北木小学校の跡地を利用しての宿泊研修を計画している。

笠岡湾干拓地の地震・津波対策について

議員 平成17年に発行された笠岡市の防災マップで、

干拓地は3メートル以上の浸水が予測されている。

国・県を含めて、防潮堤などの対策は考えているのか。

市長 干拓堤防の管理者である岡山県に聞いてみたが、現段階では具体的な防災施設の計画はできていないというところで、防災計画の見直しによってどうするかというのを協議する必要があると考えている。

「フォレストベンチ工法」の導入について

議員 道路工学の権威者、栗原光二博士の考案による工法で、東日本大震災でも気仙沼市で、その有効性が実証された。自然と共生して斜面を地震や豪雨災害から守る工法である。

この工法を研究し、導入してはどうか。

建設産業部長 フォレストベンチ工法は、のり面の補強を行う土木工法の一つである。土砂や木材などの現

地発生材が利用できる上に、新たに苗木を植えることにより、自然の森を根づかせることができると。防災機能や自然再生機能の面からも、これからの時代のニーズに適したものであると思うので、今後、採用について検討したいと考えている。

樋之津倫子議員

介護保険料引き下げを求めて

議員 今年は、介護保険料の3年ごとの改定時期に当たる。3月議会に、保険料を25・7%引き上げる条例改正の議案が上程された。

市民生活の厳しい現状を見る時、介護保険料の引き下げを図るべきではないかと考えるが、どうか。

市長 第5期笠岡市介護保険事業計画を策定するに当たり、3年間の計画期間内の高齢者人口の動向・介護認定の動向・保険給付費の動向などを総合的に検討し、

さらに、長期的な状況も見据えて検討した結果である。**議員** 井原市は基金の取り崩しが基金残高の74%で、本市は63%である。引き上げ幅を小さくするために、さらに取り崩しは可能だと考えるが、どうか。

子どもの医療費助成制度の改善を求めて

議員 県下の自治体の3分の2が中学卒業までとしている中、本市は小学3年生

